

茶病虫害防除情報

令和元年 12 月 13 日

【第 18 号】

鹿児島県経済連・肥料農薬課

2020 年茶栽培暦（防除暦）について

県内各地区の 2020 年茶栽培暦改定検討会は終了しました。今回の改定では、米国残留基準設定 (MRL) がすすんだことから南薩地区では一般園、米国輸出栽培園共通の一本化した栽培暦が作成されました。その他、秋芽生育期の病害防除において今年普及情報となったダエール 1000 と EBI 剤を混用し 3-4 葉期に 1 回散布する防除法が殆どの地区で採用になり、秋芽生育期の害虫防除に新規殺虫剤グレース乳剤が北薩地区で採用になりました。また、チャトゲコナジラミの発生増加に伴う防除対策の充実もさらに図られています。地区茶栽培暦を 3 パターン(南薩地区版、北薩・姶良・曾於地区版、日置・肝属版)に整理しました。

1 今年の病虫害発生状況

炭疽病・・・並～やや多発生 三番茶期、秋芽生育期後半にやや多発生

輪斑病、新梢枯死症・・・並～やや少発生 新梢枯死症は並発生

網もち病・・・やや少発生

赤焼病・・・極一部地域で発生 発生少ない状態続く

カンザワハダニ・・・並発生 秋芽生育期に更新園で一部多発生

チャノコクモンハマキ、チャハマキ・・・発生時期、発生量は並発生、チャハマキは秋期に一部地域でやや多発生

チャノホリガ・・・発生時期、発生量は並発生

チャノミドリヒメヨコバイ・・・やや多～多発生 チャノキイロアザミウマ・・・少発生

クシロカイガラムシ・・・発生時期やや遅く 発生は並～やや少発生 近年発生減少傾向

チャトゲコナジラミ・・・県内全域産地に発生拡大 発生程度はやや低い

マダラカサハラハムシ・・・県内全域発生漸増傾向

2 平成 30 年以降新規登録暦採用農薬について

殺菌剤 ムッシュホルター 銅剤 塩基性硫酸銅 500～1000 倍 (変更) もち病 (追加)

殺虫剤 モスピラン SL 液剤 ネオニコチノイド系剤 アセタミプリト マダラカサハラハムシ (追加)

コテツフロアブル その他 クロルフェナピル シヤクトリムシ類 (追加)

テップン液剤 ジアミド系剤 シクラエリブロール ツマグロアオカスミカメ マダラカサハラハムシ (追加)

グレース乳剤 イソキサゾリン系 フルキサメタミド チャノコクモンハマキ チャハマキ チャノホリガ ヨモギエダシヤク

チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャトゲコナジラミ

マダラカサハラハムシ サビダニ類 チャノホリガニ (新規)

3 輸出相手国の農薬残留基準値(MRL)の設定状況

殺菌剤 インターフロアブル 日本 30ppm USA 10 ppm フリントフロアブル 25 日本 USA 5 ppm

殺虫剤 ダニサラハフロアブル 日本 USA 40 ppm アグリメック 日本 USA 1 ppm

スピノエスフロアブル 日本 USA 2 ppm ファルコンフロアブル 日本 40 ppm USA 20 ppm

2020年 鹿児島県茶栽培暦 (南薩地区版) (米国輸出茶栽培対応)

月 旬	茶生育過程 (防除時期)	基幹防除		補完防除	
		病害虫名	薬剤 希釈倍数	病害虫名	薬剤 希釈倍数
2	越冬期 初発病確認時			クワシロカイガラムシ 赤焼病(初発生時)	ブルートMC 1000 カスミンボルトー 1000
3 上 中 下	越冬後増殖開始期 (一番茶芽萌芽直前) 一番茶芽萌芽期	ハダニ・サビダニ発生園 カメムシ アブラムシ	ダニケッターフロアブル 2000 アクトラ顆粒水溶剤 3000	ハダニ(多発生時)	ダニサハラフロアブル 1000
4					
5 上 中 下	第1世代ふ化最盛期 第1世代若齢幼虫期 二番茶芽萌芽-1葉期	クワシロカイガラムシ (チャトゲ) ウンカ スリップス ホリガ	アブロードエースフロアブル 1000 ウララ DF 1000 + ファルコンフロアブル 4000	ハマキムシ類 炭疽病 炭疽病(輸出不可)	ハマキ天敵 2000 又は ハマキコン N 30~50 m クワロシールド 500 ダニコニール 1000 700
6 中下	三番茶芽萌芽-1葉期	ウンカ スリップス ホリガ	テップン液剤 1000	炭疽病 炭疽病(輸出不可)	クワロシールド 500 ダニコニール 1000 700
7 中下	最終摘採後直後 (四番茶萌芽期)	輪斑病	カスミンボルトー 1000	ウンカ スリップス ホリガ	ダントツ水溶剤 2000
8 上 中 下	秋芽 萌芽-1葉期 秋芽生育期(発生所期) 秋芽 3-4葉期	炭疽病 新梢枯死症 ウンカ スリップス ハマキ シャクトリ ハダニ マダラカサハラハムシ	フロンサイト SC 2000 + コテツフロアブル 2000 インターフロアブル 5000 + スタークル顆粒水溶剤 2000		
9 上	第3世代若齢幼虫期 (秋芽 3-4葉期 7日後)	炭疽病 網もち病 ウンカ スリップス ホリガ		チャトゲコナジラミ チャトゲ(輸出不可) 網もち病	アグリメック 1000 又は ガンバ水和剤 1500 クワロシールド 1000
9	若齢幼虫発生期	ハマキ シャクトリ ホリガ チャトゲ	デイナ SC 5000		
10 下					
11	(秋整枝・秋番茶摘採後)			チャトゲニ ハダニ (輸出不可)	ミルハノック乳剤 1000

2020年 鹿児島県茶栽培暦（北薩・姶良 曾於地区版）（秋芽病害混用1回散布防除法）

月 旬	茶生育過程 (防除時期)	基幹防除			補完防除		
		病害虫名	薬剤	希釈倍数	病害虫名	薬剤	希釈倍数
2	越冬期 初発病確認時				クシロカイガラムシ 赤焼病（初発生時）	フルートMC 1000 カスミンホルトロー 1000	
3 上 中 下	一番茶萌芽前 越冬後増殖開始期 (一番茶芽萌芽直前)	ハダニ ハダニ・サビダニ発生園 ハマキムシ類	ハロツクフロアブル 2000 又は タニゲッターフロアブル 2000 ハマコンN 150本		ハダニ（多発生時）	タニサハラフロアブル 1000	
4	(越冬世代成虫発生初期)						
5 上 中 下	第1世代ふ化最盛期 第1世代若齢幼虫期 二番茶芽萌芽-1葉期	クシロカイガラムシ (チャトゲ) ウカ スリップス ホリカ 炭疽病 黒葉腐病	アプロートエスフロアブル 1000 ウララ DF 1000 + サムコルフロアブル 4000 タコニール 1000 700~1000		ハマキムシ類(2世代も可) ホリカ	ハマキ天敵 2000 カスケード乳剤 4000 又は フェルコンフロアブル 4000	
6 中 下	二番茶摘採・整枝後 三番茶芽萌芽-1葉期	ウカ スリップス ホリカ	スタークル顆粒水溶剤 2000		輪斑病 炭疽病	アミスター 20フロアブル 2000 タコニール 1000 700~1000	
7 中下	最終摘採後直後 (最終摘採後)	輪斑病	カスミンホルトロー 1000		ウカ スリップス	コテツフロアブル 2000	
8 上 中 下 9 上	秋芽 萌芽-1葉期 秋芽生育期(発生所期) 秋芽 3-4葉期 (秋芽 4-5葉期)	炭疽病 新梢枯死症 網もち病 ウカ スリップス ハマキ シャクトリ ホリカ マダラカサハラムシ チャトゲコナジラミ	エクシレルSE 2000 又は テップン液剤 1000 又は グレイシア乳剤 2000 など オンリーワンフロアブル 2000 又は インダーフロアブル 5000 + タコニール 1000 1000 + カンパ水和剤 1000 又は ディアナSC 5000 (殺菌・殺虫剤3種混用散布)		ハダニ マダラ ハマキ ハダニ ハダニ ハマキムシ類 ホリカ シャクトリ チャトゲ 網もち病	コテツフロアブル 2000 マイトコーネフロアブル 1000 アグリメック 1000 クプロシールド 1000 又は アジトールLフロアブル 500	
9	若齢幼虫発生期				ハマキ シャクトリ チャトゲ スリップス	ディアナSC 5000	
10 下							
11	(秋整枝・秋番茶摘採後)				チャトゲ チャトゲ ハダニ	アプロートエスF 1000 ミルベノック乳剤 1000	

※赤字薬剤は「かごしま茶サプライゼンシステム」登録要件のUSA輸出茶栽培園(秋冬番茶表示不可)使用可

2020年 鹿児島県茶栽培暦（肝属・日置地区版)(秋芽病害2回体系防除・混用1回防除法併記)

月 旬	茶生育過程 (防除時期)	基幹防除		補完防除	
		病害虫名	薬剤 希釈倍数	病害虫名	薬剤 希釈倍数
2	越冬期			クリシコイカラムシ	フルートMC 100
3 上 中 下	一番茶萌芽前 越冬後増殖開始期 一番茶芽萌芽期頃	ハダニ サビダニ	ダニゲッターフロアブル 2000 茶ちやっとフロアブル2000 など	ハダニ (多発生時) カメシ	ダニサラハフロアブル 1000 アクトラ顆粒水溶剤 3000
4					
5 上 中 下	第1世代ふ化最盛期 第1世代若齢幼虫期 二番茶芽萌芽-1葉期	クリシコイカラムシ チャトゲ ウンカ スリップス ホリガ	アプロートエースフロアブル 1000 アプロートエースフロアブル 1000 ウララ DF 1000 + カスケード乳剤 4000	ハマキ類(2世代も可) 炭疽病 黒葉腐病	ハマキ天敵 2000 ダニコニール 1000 700
6 中 下	三番茶芽萌芽-1葉期	ウンカ スリップス ホリガ	スタークル顆粒水溶剤 2000	炭疽病	クプロシールド 500
7 中 下		輪斑病	カシミホルトール 1000		
8 上 中 下 9 上	秋芽生育期 秋芽 萌芽-1葉期 秋芽生育期(発生所期) 秋芽 3-4葉期 (秋芽 3-4葉期) 秋芽 4-5葉期	炭疽病 新梢枯死症 網もち病 ウンカ スリップス ハマキ シャクトリ ホリガ ハダニ マダラカサハラハムシ チャトゲコナジラミ	(殺菌剤 2回散布体系防除) ダニコニール 1000 700 + エクシール SE 2000 インターフロアブル 5000 + ガンバ水和剤 1000~1500 又は (殺菌剤混用 1回散布防除) (ダニコニール 1000 700~1000) (インターフロアブル 5000) (ガンバ水和剤 1000~1500)	ハダニ (多発生更新園) 網もち病	ダニサラハフロアブル 1000 又は マイトコネフロアブル 1000 など クプロシールド 1000 又は コサイド 3000 1000
9	若齢幼虫発生期	ハマキ シャクトリ チャトゲ	デアナ SC 5000		
10 下					
11	(秋整枝・秋番茶摘採後)			チャトゲ チャトゲ ハダニ	アプロートエースフロアブル 1000 アグリメック 1000

※赤字薬剤は「かごしま茶サプライゼンシステム」登録要件の USA 輸出茶栽培園 (秋冬番茶表示不可) 使用可